飯山駅周辺エリアにおけるシェア乗りタクシー実証運行業務｜飯山市地域公共交通会議

2026/3/6

目的：市民・観光客の利便性を最大化する地域交通DXの実現

シェア乗りタクシーの配車アプリと割引認証にかかわるシステムの導入により、市民の移動に係る負担の軽減、観光客を含めた利用者の乗車機会の向上、割引サービス提供に係る自治体のDXを実現する

事業内容：地域交通DXの推進とデータに基づく公共交通体系の構築

【交通サービスの高度化】

①配車予約システムの開発・サービス提供、新幹線等他交通モードとの連携

- タクシー事業者の効率的な運行管理を可能にする配車システム導入と利用者がアプリで予約・決済できるサービスを提供した
- 経路検索サービスにシェア乗りタクシーを対応させ、新幹線や在来線からシームレスに乗り継ぎが可能となる予約環境を実現した

②飯山市民向けの割引サービス・UIの提供

- 割引認証に係るシステム（クーポン取得サイト等）を導入した
- 市民が手軽に利用できるよう、配車アプリ起動時に登録済みの自宅が出発地に自動入力されるようUIをカスタマイズした
- マイナンバーカード情報を活用した市民向けの割引サービスを実施した

【モビリティデータの取得と活用】

- 配車アプリの利用実績データを可視化・分析し、市民と観光客双方に対して安定した移動手段の提供を実現する公共交通体系の検討に向け活用した

【地域交通政策等との連携】

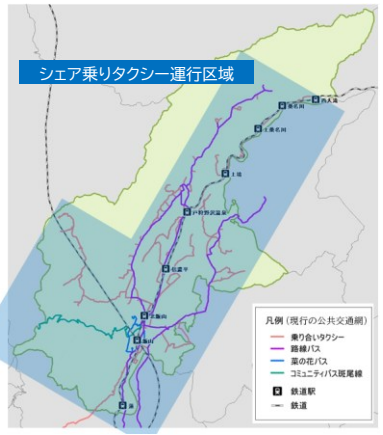
- 供給力が不足し交通空白となっている状況を継続的にデータで把握し、データに基づいて地域公共交通計画の検討・改定を行い、地域にとって望ましい公共交通の姿を実現する

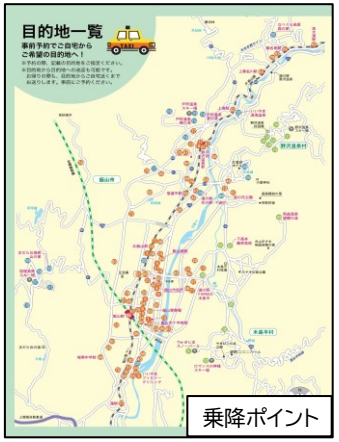
効果

- 課題：従来のバス・乗り合いタクシーは、自宅から停留所までの移動に係る負担が大きく、高齢者等歩くのが困難な方にとっては、利便性が低いという課題があった。
- 効果：本事業により、自宅から目的地までの運行を可能にした結果、利用者の52.4%が自宅を出発地点に設定。アンケートでは移動の満足度が79%に達し、高齢者等の移動利便性が向上した

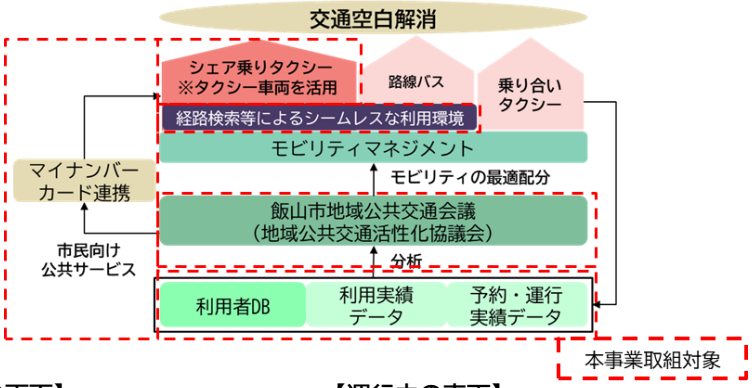
【実施エリア】

・飯山市
・野沢温泉村
・木島平





【本事業の取組の全体像】



【アプリの画面】



予約フォーム画面



割引クーポン取得画面

【運行中の車両】



Copyright © 2026 by MLIT. All rights reserved.

プロジェクトの効果

課題に対する効果

#	課題	効果
1	バス・乗り合いタクシーは、自宅から停留所までの移動に係る負担が大きく、高齢者等歩行が困難な方にとって、利便性が低いという課題があった。	シェア乗りタクシーの出発地点について、利用者の自宅を設定可能としたことで、自宅から停留所までの移動負担が軽減され、利用者アンケートでは「目的地までの移動」に79%が満足との結果が得られており、高齢者等歩行が困難な方の利便性を向上することができた。
2	飯山市民にとって、市街地以外から飯山駅を含む中心市街地や中心市街地内の移動に係る利便性が低いという課題があった	シェア乗りタクシー利用者の49.6%が飯山駅を含む中心市街地で降車しており、本サービスが「中心市街地への移動」および「中心市街地内の移動」の手段として有効に機能したことで、市民の利便性向上に寄与した
3	岳北地域内外への移動の拠点となる飯山駅では、冬季に増加するインバウンド含む観光客によりタクシーが不足する課題があった	相乗りが可能な配車システムの導入によって、実証運行期間中で48組の相乗りが実現し、運行効率の向上によるタクシー不足解消の一助となることができた

KPI

【凡例】 赤字：目標達成　青字：目標未達成

#	測定項目	KPI	計測方法	計測頻度・回数	事業実施年度の目標値	最終結果	達成/未達成の原因
1	任意の乗降箇所への対応による公共交通の利用ニーズの増加	シェア乗りタクシーおよび乗り合いタクシーの年間延べ利用者数	データベースを確認	毎月	5,300人 ※1月末時点 4,259人 シェア乗り：461人 乗り合い：3,798人	※1月末時点 **4,277人** シェア乗り：472人 乗り合い：3,805人	今回の実証実験では、高齢者等の移動が困難な方に対して、戸別訪問による制度説明及び利用登録を実施したことで、真にサービスを必要とする層に的確にアプローチすることができたため
2	乗り合いタクシーの新たな移送方法の導入による運行効率の向上	シェア乗りタクシー1運行あたりの平均利用者数	データベースを確認	毎月	2.5人	1.32人	利用者が予約時、乗車・降車に好きな場所・時間を指定する中、利便性を考慮した配車を最優先した結果、単独乗車が増加。結果、タクシー稼働台数の制約から相乗り配車に車両を割けなかったため
3	公共交通の利用にあたる利用者の負担の軽減	公共交通に課題があって利用しない人の割合	市民アンケートの実施	実証運行期間で1回	25%	28%	公共交通を利用しない理由に「時間が合わない」、「自宅近くにバス停がない」という回答が多かった。今回の実証（シェア乗りタクシー）では、利用しない理由が改善されていたが、その周知が不足していたことが原因と考える。なお、令和3年度アンケートの同様の質問の結果は、37.8%であり、今回の実証による効果はあったと考える

MLIT Copyright © 2025 by MLIT. All rights reserved.